

2019年10月29日

助成事業実施報告書

団体名 吉祥寺村立雑学大学

代表者・役職名 氏名 学長 西本 晃二

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

創立40周年記念誌発刊

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

市民活動としての、市民手作りで誰でも気軽に立ち寄り、運営にも参加できる場所を目指して1979年に設立。講師謝礼、会場費、参加費が無料の「三タダ主義」のもと、毎週土曜日休みなく40年続く。語る喜び、聞く喜び、学ぶ喜びを味わい、シニアの健康と福祉に役立っている。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

高齢化社会の時代となり、地域とのかかわりを持つ場が求められている。いつでも誰でも自由に参加でき、語る喜び、聞く喜びを味わえる市民手作りの雑学大学の意義が益々増す。
①40年の足跡の記録を残す②市民手作りの三タダ主義の雑大方式の啓蒙③人と人との交流の輪を広げるを目的に40周年記念誌を発刊する。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

40周年記念誌の発刊。内容は①1979年から2019年の40年間、1960回の全講座タイトルと講師名②講師並びに受講者42名の寄稿文③吉祥寺村立雑学大学通信掲載の講座模様(写真と講義内容)等です。発刊部数は220部。2019年10月5日雑学大学創立記念講義のあとに出席者に配本そして後日欠席者には郵送配本しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

1. 記念誌『吉祥寺村立雑学大学40年の歩み 夢を育む学び舎』2019年10月完成発刊
2. 雑学大学の吉祥寺雑学大学方式(講師料、会場費、参加費の三タダ主義)のPR
3. 記念誌の女性執筆者が全体の4分の1の10名に達する。
4. 記念誌を通じて雑大参加者同士のコミュニケーションが活発になる


6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

記念誌を媒体に団塊世代を中心に地域社会参加の促進並びに吉祥寺雑大方式を全国の「雑学大学」へさらに広めたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



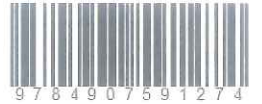
吉祥寺村立雑学大学
40年の歩み

夢を育む学び舎

1979.10~2019.10

ISBN978-4-907591-27-4

C0095 ¥1,500E



9 784907 591274

定価： 本体 1,500 円 + 税



1 920095 015002



真如苑助成事業